

いちよう

2月号

栃木市立藤岡小学校だより
令和4年2月16日発行
文責 校長 藤間 亮子

【教育目標】豊かな心を持ち 元気で学び合う児童を育む

立春を過ぎ、陽差しに春を少しだけ感じられるようになりました。木々の枝には一日一日と膨らむ芽が、春の訪れの準備をしているようです。新型コロナウイルス感染症オミクロン株の急激な感染拡大により、予定されていた懇談会等の中止や日課の変更などを余儀なくされ、ご家庭にもご迷惑をおかけしてしておりますこと、大変申し訳なく思います。

まだまだ厳しい寒さが続きますので、子どもたちの健康管理を十分に行っていただき元気に登校できますようご協力をお願いします。



オンライン授業をテスト実施しました

2月4日（金）は給食後、一斉下校とし、14:30から6時間目の授業をオンラインにより行いました。

これより前に、各クラスでタブレット操作や授業に必要なソフトの使い方などを学んだり、校内で合わせてオンラインの授業を実施したりして準備をしてきました。教室では先生の見守りの下実施しましたが、ご家庭での様子はいかがでしたでしょうか。何かお気づきのことがありましたら、ぜひ担任にご連絡いただけますとありがたく存じます。

今回は、ネット接続やタブレット操作などを自分で行き、授業に参加することが主な目的でした。基本的な授業は「教師からの説明」「児童による学習活動」「共有・振り返り」の3部構成とし、ネットでつなぐ時間は15～20分に留めました。教師も実際の授業を想定して、必要となる技術やタブレットならではの課題などを話し合い、解決しながら授業づくりにも取り組みました。

GIGAスクール構想によりタブレットを活用したオンライン授業が可能となったわけですが、学校での授業のすべてをタブレットで補うことはできません。長期の休業になった場合の学習機会の保障に加えて健康観察といった学校とのつながりを保障するためにも、タブレットを活用してできることは何か、そのよさを見極めていけるよう、まだまだ始まったばかりですが、試行錯誤をしていきたいと思っております。



オンラインで授業



子どものタブレット画面



教室で授業をする担任

学校がより美しくより安全になりました

本校の保護者であり、塗装業を営んでいらっしゃる平塚様のご厚意で、本校の正門等の塗装と校舎内の消毒により、学校がより美しくより安全になりました。

塗装は、西正門、西昇降口庇、屋外水飲み場壁、職員玄関庇に施工していただきました。卒業生の門出を見守るように、見違えるほどきれいになりました。作業の様子を見て、子どもたちからも歓声が上がっていました。

また、このところの新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大の中で、より安心安全な環境の中で教育活動が行えるようにというお心配りで、夏休みの施工に続けて、光触媒コーティングを、再度散布していただきました。

感謝の意を込めてご紹介させていただきます。誠にありがとうございました。



光触媒コーティングのようす



西正門



西昇降口庇



屋外水飲み場



職員玄関庇

新型コロナウイルス感染症に関するお願い

校内では、これまで行って参りました基本的な感染症対策はもちろんのこと、授業の活動や休み時間の過ごし方をもう一度見直したり、鼻をマスクで覆うことの大切さを伝えたりして、今一度、感染を起こさない、広げないために皆で協力して行動するよう呼びかけております。

未だ収束の兆しが見えない中、保護者の皆様にもご不安なこともあるかと思いますが、子どもたちの学びをできる限り守って参りたいと思いますので、登校の際は、次のことについてご理解ご協力をよろしく願います。また、ご心配なことは遠慮せずご相談ください。

【特にお願いしたいこと】

- ・ 毎日の「体調チェック表」の記入は、お子様の変化を見逃さずに、お願いします。中には、登校直後に体調不良を訴え、「朝から不良だった」というケースもあります。
- ・ 具合が良くないときには登校を控え、場合によっては、医療機関を受診してください。
- ・ ご家族が体調不良のときも、登校自粛をお願いしています。
- ・ オミクロン株の初期症状の特徴として、「喉の痛み・咳」があります。発熱の有無にかかわらず、入念な観察と適切な判断をお願いします。

ホームページをご覧ください！



本校の教育活動のようすをはじめ、様々な情報を迅速にお届けするため、随時更新しております。

各記事への[投票]をお願いします。

